



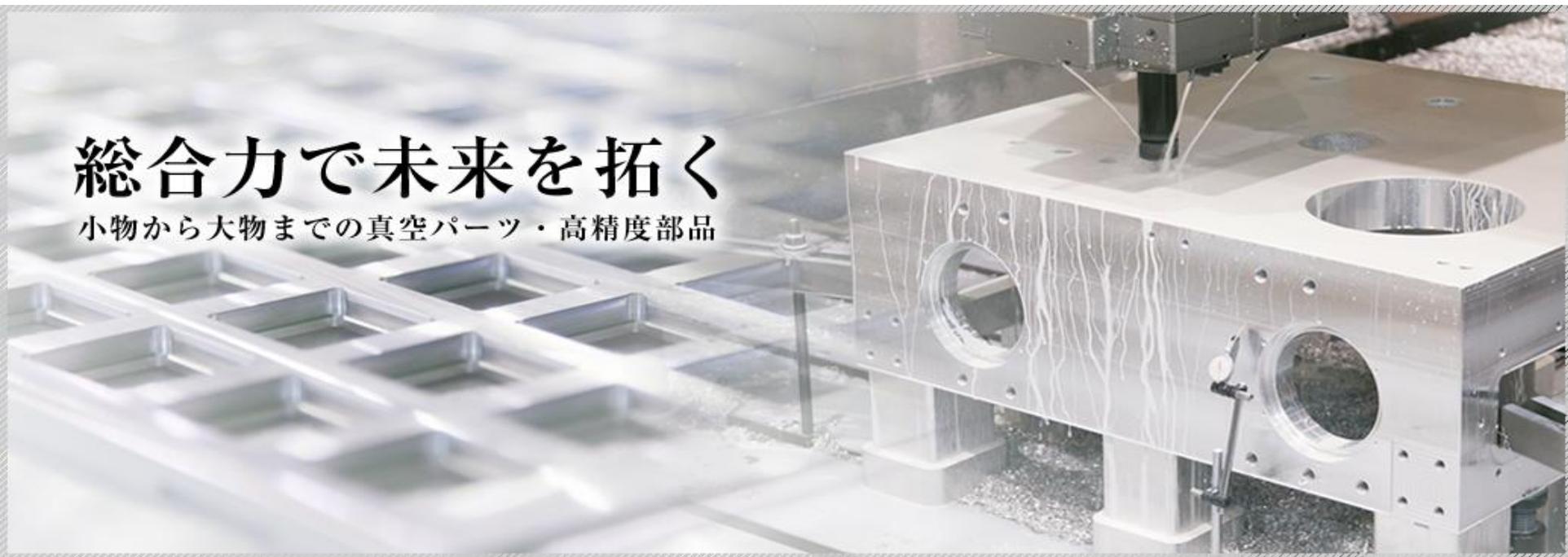
東証マザーズ(TSE Mothers):6264

**株式会社マルマエ**  
**平成29年8月期 第1四半期決算 補足資料**

平成29年1月14日

**総合力で未来を拓く**

小物から大物までの真空パーツ・高精度部品



## PL分析

PL

	平成28年8月期 第1四半期累計期間		平成29年8月期 第1四半期累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
受注高	537	—	696	—	29.6
受注残高	368	—	443	—	20.2
売上高	619	100.0	618	100.0	△0.2
売上原価	400	64.7	416	67.3	3.8
売上総利益	218	35.3	202	32.7	△7.6
販売管理費	63	10.2	89	14.5	41.5
営業利益	155	25.1	112	18.2	△27.6
経常利益	148	23.9	111	18.0	△24.9
特別損益	6	1.0	1	0.3	△67.7
当期純利益	100	16.2	76	12.3	△24.0
EPS (円)	19.04	—	14.46	—	△24.0
EBITDA	187	—	155	—	△17.4

Point

### ①受注状況

- 半導体分野：505百万円  
(対前年同期：85.1%増)
- FPD分野：185百万円  
(対前年同期：29.0%減)
- その他分野：4百万円  
(対前年同期：84.6%増)

### ②売上高

- 対前年同期0.2%の減少
- ※分野別の詳細は次頁

### ③売上原価・売上総利益

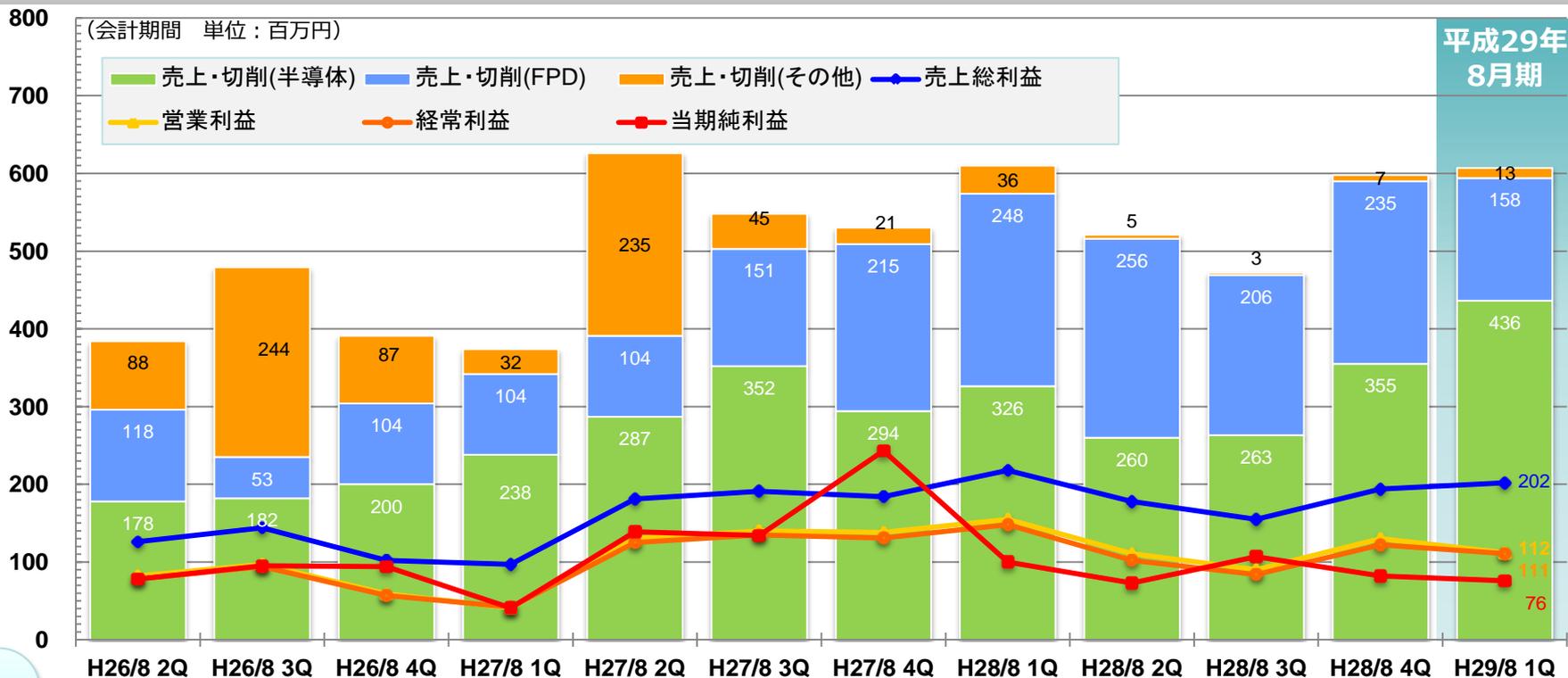
- 材料費：1.8百万円増加  
(対前年同期：1.8%増)
- 労務費：10.6百万円増加  
(対前年同期：8.3%増)
- 外注加工費：25.5百万円増加  
(対前年同期：37.0%増)
- 減価償却費：10.4百万円増加  
(対前年同期：33.7%増)

### ④営業利益

- 販管人件費：5.7百万円増加
- 研究開発費：18.6百万円増加

# 1.決算概要

## 四半期業績の推移



Point

### ①売上高は、半導体分野が牽引（数値は累計期間）

■半導体分野：436百万円（対前年同期：33.9%増）

- ・需要拡大に合わせた生産設備増強や流動的人材の活用で生産体制の強化を図り売上高の拡大傾向が継続

■FPD分野：158百万円（対前年同期：36.2%減）

- ・有機ELと第10.5世代向けの受注が再拡大

■その他分野：13百万円（対前年同期：63.9%減）

### ②損益面は、生産体制の強化が進行中

- ・急拡大する需要に備えるための生産設備増強
- ・減価償却費や外注加工費等の増加が発生し、製造原価は若干増加

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

# 1.決算概要



## B/S分析

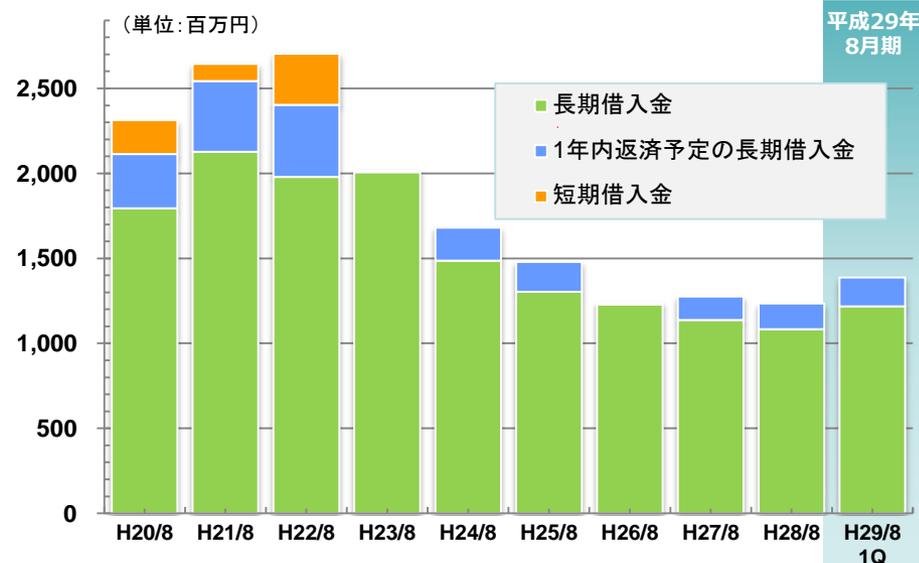
B/S

(単位：百万円)	平成28年8月期 会計年度末	平成29年8月期 第1四半期末
流動資産	1,415	1,428
現金及び預金	513	564
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	699	661
たな卸資産	163	176
固定資産	1,154	1,239
建物・土地	632	629
機械及び装置	480	534
流動負債	484	413
有利子負債（短期）※	150	170
固定負債	1,106	1,240
長期借入金	1,084	1,218
負債合計	1,590	1,654
純資産合計	978	1,012
総資産	2,569	2,667

※ 有利子負債（短期）：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

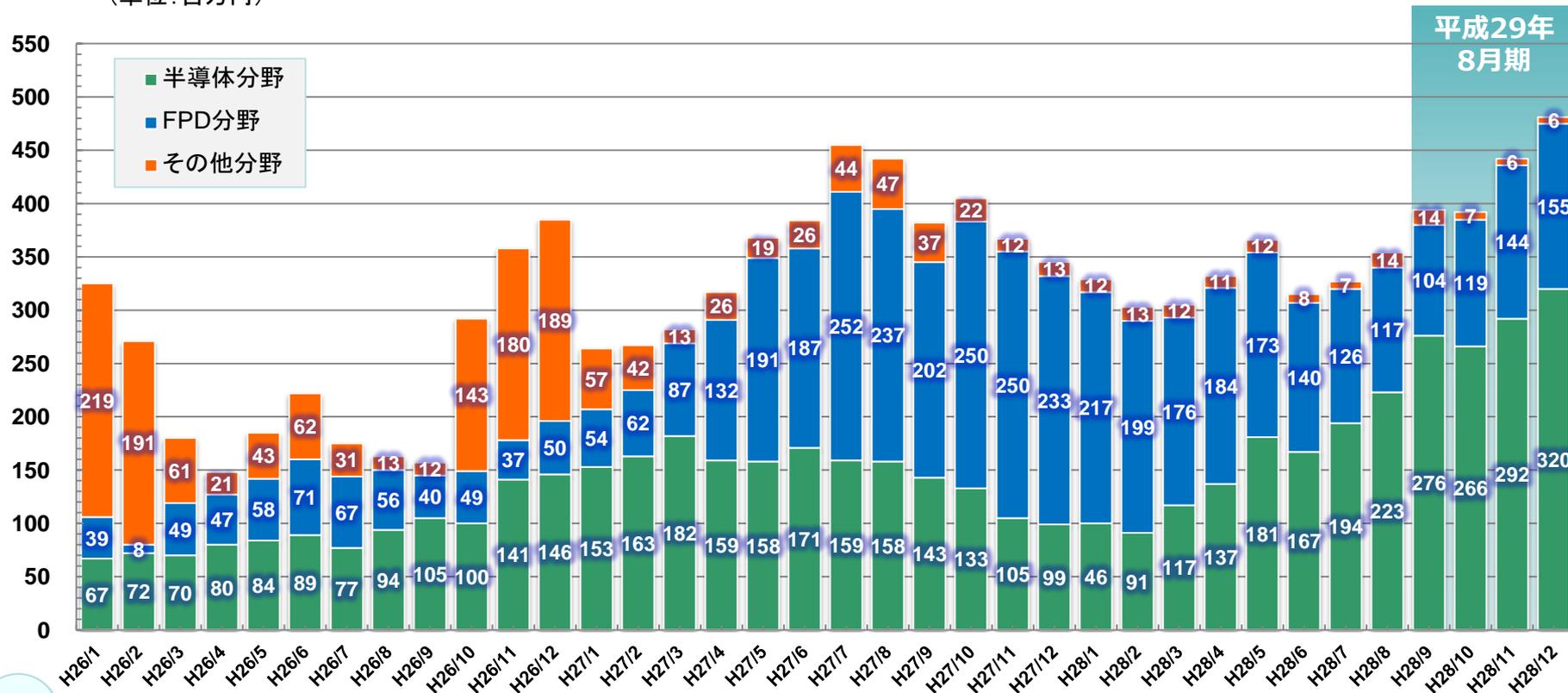
Point

- ① **資産：2,667百万円(前期末比:97百万円増加)**
  - 現金及び預金：50百万円増加
  - 有形固定資産：83百万円増加
  - 売上債権：38百万円減少
- ② **負債：1,654百万円(前期末比:63百万円増加)**
  - 1年以内返済予定長期借入金：20百万円増加
  - 長期借入金：134百万円増加
  - 未払法人税等：47百万円減少
- ③ **純資産：1,012百万円(前期末比:34百万円増加)**
  - 利益剰余金：34百万円増加
  - 自己資本比率：38.1%→38.0%



## 月次受注残高の推移

(単位:百万円)



### Point

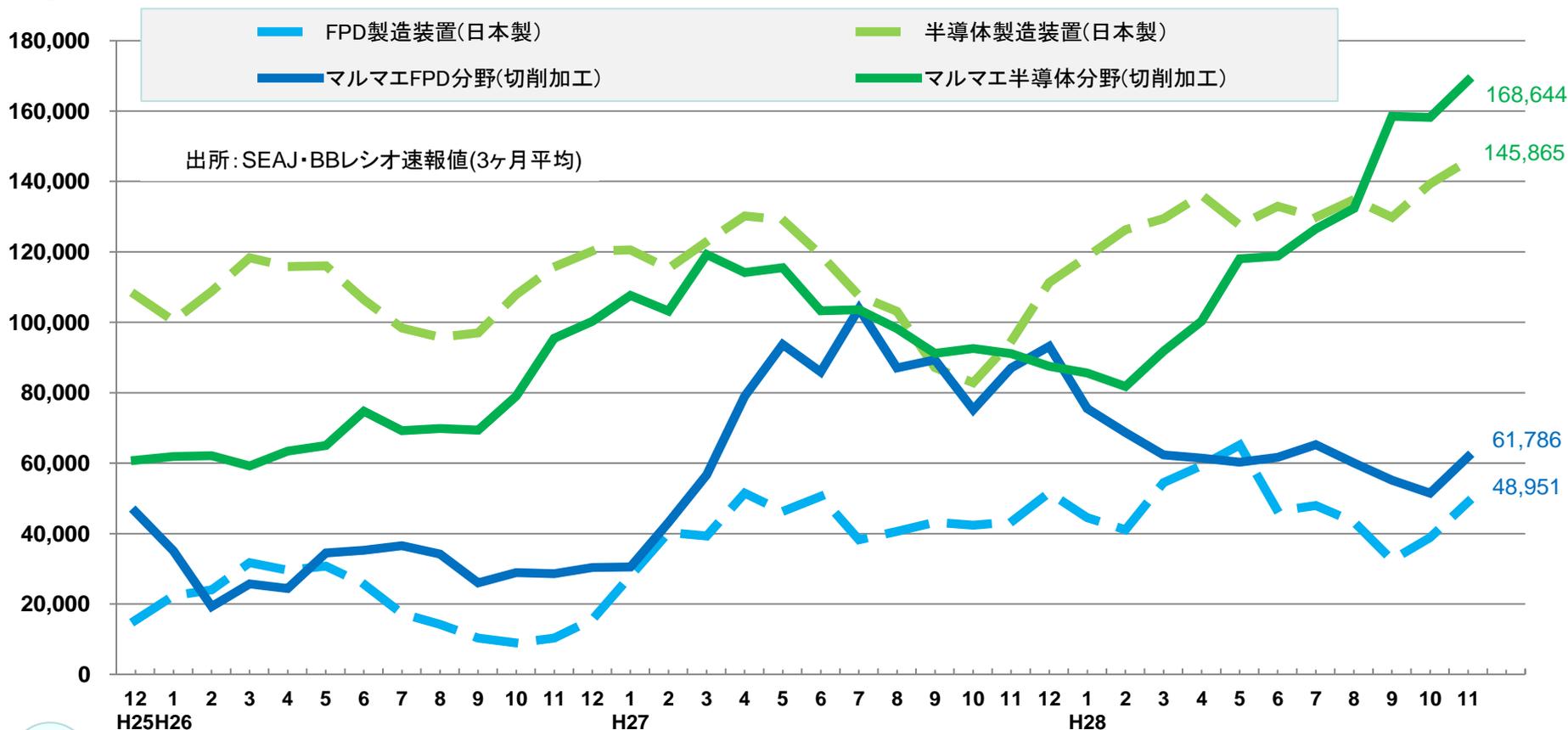
- 半導体分野では、3D NAND向けの受注とロジック向けの微細化投資が拡大し受注が増加している。
- FPD分野は、中小型の液晶パネルに加え大型液晶パネル向け受注が再開。有機EL向け投資も増加始まる。
- その他分野は、主だった動きはなし。

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム (LT) があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。(主に半導体はLTが短く、FPDはLTが長めです)

# 2.事業環境

## 市場とマルマエの受注動向比較（3ヶ月移動平均数値）

受注



Point

- 半導体分野は、微細化投資に加え3D NAND向けの投資が爆発的に増加している。
- FPD分野では、有機ELに加えてG10.5向けの液晶投資が増加中。

# 3.平成29年8月期の業績予想

## 今期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

業績  
予想

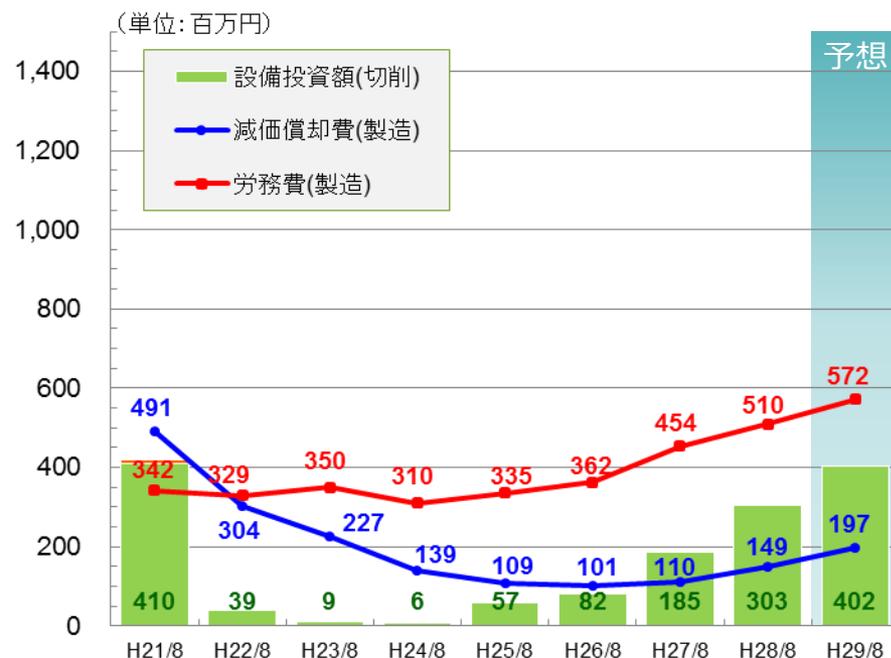
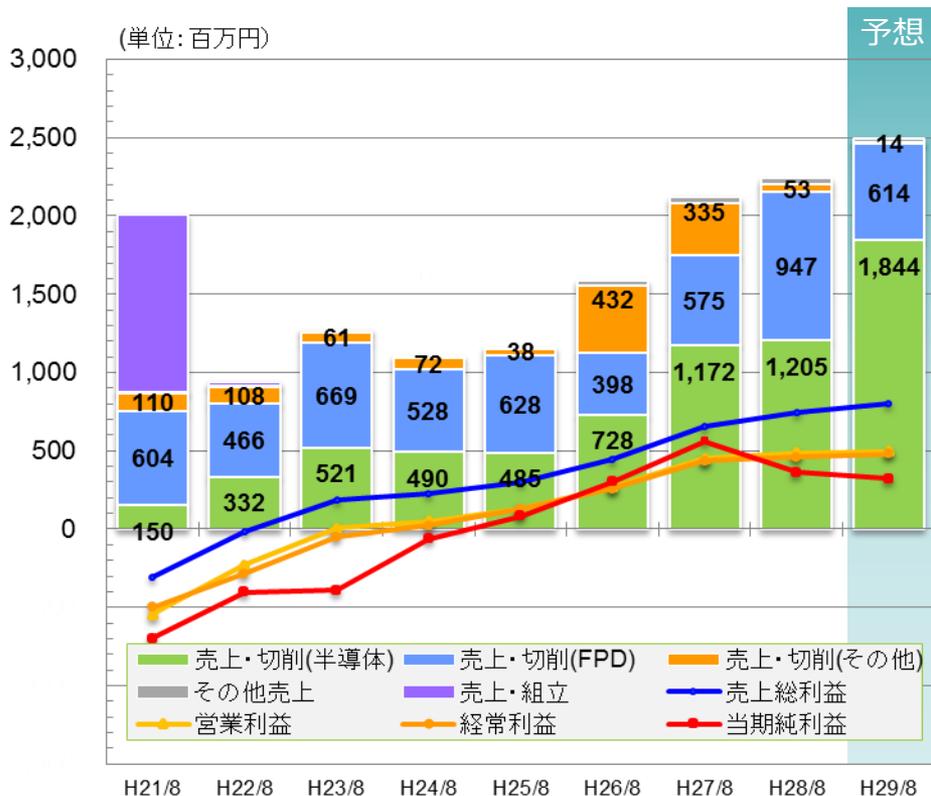
(単位：百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成29年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
第2四半期(累計)	1,265	252	246	169	32.08
通期	2,494	494	479	321	60.93

Point

### 業績予想の修正（H28年12月19日開示）

- ✓ 半導体分野とFPD分野において当初想定以上の受注が得られる見込み
- ✓ 損益面も売上高増加による増益へ転換



## 新中期事業計画の状況

### 中期事業計画

### 中期事業計画の進捗

事業分野	目標	進捗等
既存事業	半導体分野の伸長 生産性向上	3D NAND増加とロジック微細化が同時進行。キャパ不足。
M & A	中小を中心にシナジー有り 又は半導体のリスクヘッジ	一時停止し、自社投資を優先する方針。
新分野	作業補助・介護ロボット等	リハビリ装置試作機を発表。 開発部新設。
市場変更	期間中に東証一部を目指す	組織の課題を改善し、着実に行動中。株主増加策積極化。



# Company Profile

企業情報

## 当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

**主要工程**

- エッチング
- CVD
- コータ/デベロッパ
- スパッタ
- 枚葉洗浄
- アッシング
- ウエハーボンディング
- イオン注入
- アニール

**主要製品**

- 真空チャンバー
- シャワーヘッド
- 排気板
- 静電チャック
- ヒーター類
- 上部電極
- ターゲット
- 搬送系パーツ類
- 各種真空パーツ類

※画像はイメージです

## 総合力で未来を拓く～真空パーツ・マシニング・門型加工の専門メーカー～

<b>会社名</b>	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)	
<b>設立</b>	昭和63年10月	
<b>資本金</b>	1億3585万円 (平成28年11月30日現在)	
<b>役員</b>	代表取締役社長 前田 俊一 専務取締役 山元 弘                      取締役 兒島 吉二 取締役 海崎 功太                      取締役 寺畑 幸雄 取締役 藤山 敏久                      取締役 梶 智和	
<b>従業員数</b>	131名 うち 臨時雇用者等53名 (平成28年11月30日現在)	
<b>所在地</b>	本社                      〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所            〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15	
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密機械・精密機器の設計・製造・加工・組立</li> <li>・精密機械部品の設計および製作</li> <li>・溶接部品の設計製造</li> <li>・運送業務</li> </ul>	
<b>経営理念</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.技術は究極を目指し</li> <li>2.競争と協調を尊び</li> <li>3.技術注力企業として社会に貢献する</li> </ol> <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>	

### 大株主 (普通株式)

前田 俊一	2,687,200株
株式会社マルマエ (自己株)	328,382株
前田 美佐子	252,000株
日本トラスティ・サービス 信託銀行	175,000株
マルマエ共栄会	104,500株
川本 嘉世子	98,900株
前田 良子	90,000株
五十嵐 光栄	84,000株
齋藤 格	60,000株
高見 靖治	47,200株

敬称略 平成28年8月31日現在

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先  
株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

[ir@marumae.com](mailto:ir@marumae.com)

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863